

平成 2 6 年 度

千葉県後期高齢者医療広域連合
一般会計
特別会計
歳入歳出決算審査意見書

千葉県後期高齢者医療広域連合監査委員



千 広 監 第 8 号

平成 2 7 年 9 月 9 日

千葉県後期高齢者医療広域連合

広域連合長 志 賀 直 温 様

千葉県後期高齢者医療広域連合監査委員 加 藤 武 人

千葉県後期高齢者医療広域連合監査委員 鈴 木 幹 雄

平成 2 6 年度千葉県後期高齢者医療広域連合一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査
意見書の提出について

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 9 2 条の規定により準用する同法第 2 3 3 条第 2 項の
規定により、審査に付された平成 2 6 年度千葉県後期高齢者医療広域連合一般会計及び特別会計歳入
歳出決算について、次のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期日	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果及び意見	1
1	審査の結果	1
2	審査の意見	2
第5	決算の概要	3
1	決算の状況	3
2	年度別決算の状況	3
(1)	一般会計	3
(2)	特別会計	5
3	予算の執行状況	8
(1)	一般会計	8
(2)	特別会計	12
4	実質収支に関する調書の審査	17
5	財産に関する調書の審査	17

(注) 比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入した。

第1 審査の対象

平成26年度歳入歳出決算の審査対象は、次のとおりである。

- 平成26年度千葉県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算書
- 平成26年度千葉県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出事項別明細書
- 平成26年度千葉県後期高齢者医療広域連合一般会計実質収支に関する調書
- 平成26年度千葉県後期高齢者医療広域連合特別会計歳入歳出決算書
- 平成26年度千葉県後期高齢者医療広域連合特別会計歳入歳出事項別明細書
- 平成26年度千葉県後期高齢者医療広域連合特別会計実質収支に関する調書
- 平成26年度千葉県後期高齢者医療広域連合財産に関する調書

第2 審査の期日

平成27年8月27日

第3 審査の方法

平成26年度の一般会計及び特別会計の決算審査にあたっては、決算書及び調書に基づいて計数は正確であるか、予算の執行が議決の本旨にのっとり適正かつ効果的に行なわれているか、などの諸点に留意し、関係諸帳簿、証書類等を照合・精査するとともに関係当局の説明を聴取したほか、更に定期監査及び例月現金出納検査の結果も参考にして、慎重に実施した。

第4 審査の結果及び意見

1 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書、一般会計歳入歳出事項別明細書、一般会計実質収支に関する調書、特別会計歳入歳出決算書、特別会計歳入歳出事項別明細書、特別会計実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、正確なものと認められた。

また、予算の執行状況についても、適法であり、適正に執行されたものと認められた。

2 審査の意見

会計別の決算状況は、一般会計では、歳入決算額 43 億 5,554 万円（前年度比 25 億 6,972 万円（143.9%）増）、歳出決算額 42 億 971 万円（前年度比 25 億 3,719 万円（151.7%）増）、歳入歳出差引額は 1 億 4,583 万円となった。

特別会計では、歳入決算額 5,114 億 4,006 万円（前年度比 252 億 4,739 万円（5.2%）増）、歳出決算額 4,960 億 3,907 万円（前年度比 227 億 1,235 万円（4.8%）増）で、歳入歳出差引額は 154 億 99 万円となった。なお、特別会計の歳入歳出差引額には、療養給付費の精算に伴う返還金等が含まれており、精算後の剰余金は 26 億円程度となるものと見込まれる。

特別会計を見てみると、歳入では、市町村からの保険料負担金が 443 億 8,161 万円（前年度比 25 億 7,345 万円（6.2%）増）、歳出では、保険給付費が 4,814 億 9,663 万円（前年度 221 億 8,395 万円（4.8%）増）となっており、増加の主な要因は、いずれも高齢化の進展による被保険者数の増加とそれに伴う医療費の増加によるものである。

なお、千葉県の被保険者数は、平成 27 年 3 月 31 日現在 66 万 4,633 人（前年度比 2 万 6,650 人（4.2%）増）で県総人口に占める割合は 10.7%となっているが、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年（2013 年）3 月推計）」によれば、県の 75 歳以上人口は、平成 37 年には 108 万 2 千人、総人口に占める割合は 18%にまで上昇すると予測されている。

また、千葉県の医療費の状況は、平成 26 年度の速報値では、5,213 億円（前年度比 234 億円（4.7%）増）で、その伸び率は全国平均値 2.1%を上回る状況となっており、今後、「団塊の世代」が後期高齢者の仲間入りをする中で、この傾向が続くものと予測される。

一方、国においても、将来にわたり持続可能な医療保険制度を構築するため、「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が本年 5 月 29 日に成立し、今後、後期高齢者医療制度も含んだ医療保険制度において、財政基盤の安定化、負担の公平化、医療費の適正化等の措置が講ぜられることとなっている。

こうした状況の中、後期高齢者医療制度の重要性は今後も一段と高まっていくことは確実であり、本広域連合は、被保険者が今後も安心して医療を受けられる体制を維持するため、より一層効率的かつ効果的な制度運営に腐心されたい。

とりわけ、平成 27 年度は平成 28・29 年度の保険料率改定が予定されていることから、改定にあたっては、保険料率と保険給付費との均衡に留意して算定を行われたい。

また、医療費の適正化の観点から、健康診査及び長寿・健康増進事業等の保健事業の一層の充実を図るとともに、引き続き保険給付の適正な執行に努められたい。

第5 決算の概要

1 決算の状況

平成26年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算は、次表のとおりである。

(単位:円)

		一 般 会 計	特 別 会 計	合 計
予 算 現 額		4,355,699,000	503,616,977,000	507,972,676,000
歳 入 決 算 額		4,355,540,811	511,440,059,571	515,795,600,382
歳 出 決 算 額		4,209,707,411	496,039,071,125	500,248,778,536
歳 入 歳 出 差 引 残 額		145,833,400	15,400,988,446	15,546,821,846
予算現額に対する比率	歳 入	100.0%	101.6%	101.5%
	歳 出	96.6%	98.5%	98.5%

一般会計の歳入決算額は43億5,554万811円、歳出決算額は42億970万7,411円で、歳入歳出差引残額は1億4,583万3,400円であり、予算現額に対する比率は歳入100.0%、歳出96.6%となった。

特別会計の歳入決算額は5,114億4,005万9,571円、歳出決算額は4,960億3,907万1,125円で、歳入歳出差引残額は154億98万8,446円であり、予算現額に対する比率は歳入101.6%、歳出98.5%となった。

2 年度別決算の状況

(1) 一般会計

ア 歳入歳出年度別決算状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

	平成24年度	平成25年度			平成26年度		
	決算額	決算額	増減額	増減率	決算額	増減額	増減率
歳 入	4,201,862,102	1,785,824,409	△2,416,037,693	△57.5%	4,355,540,811	2,569,716,402	143.9%
歳 出	4,069,934,976	1,672,515,232	△2,397,419,744	△58.9%	4,209,707,411	2,537,192,179	151.7%
歳 入 歳 出 差 引 残 額	131,927,126	113,309,177	△18,617,949	△14.1%	145,833,400	32,524,223	28.7%

平成 26 年度における一般会計歳入決算額は、前年度と比較し 25 億 6,971 万 6,402 円、143.9%の増、歳出決算額は 25 億 3,719 万 2,179 円、151.7%の増となった。

歳入歳出差引残額は、前年度と比較して 3,252 万 4,223 円、28.7%の増となっており、歳入歳出差引残額 1 億 4,583 万 3,400 円は翌年度に繰り越している。

イ 歳入予算の年度別款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

	平成24年度	平成25年度			平成26年度		
	決算額	決算額	増減額	増減率	決算額	増減額	増減率
1 分担金及び負担金	1,720,203,000	1,525,133,000	△195,070,000	△11.3%	1,628,572,000	103,439,000	6.8%
2 国庫支出金	2,280,947,405	23,082,600	△2,257,864,805	△99.0%	2,552,945,008	2,529,862,408	10,960.0%
3 県支出金	20,841,050	21,076,600	235,550	1.1%	0	△21,076,600	皆減
4 財産収入	2,668,796	2,764,797	96,001	3.6%	2,600,968	△163,829	△5.9%
5 繰入金	84,117,098	80,177,172	△3,939,926	△4.7%	57,000,000	△23,177,172	△28.9%
6 繰越金	91,592,633	131,927,126	40,334,493	44.0%	113,309,177	△18,617,949	△14.1%
7 諸収入	1,492,120	1,663,114	170,994	11.5%	1,113,658	△549,456	△33.0%
合計	4,201,862,102	1,785,824,409	△2,416,037,693	△57.5%	4,355,540,811	2,569,716,402	143.9%

主な内容として、国庫支出金は、保険料軽減特例措置の財源となる高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金が、平成 26 年度分より前年度交付から当年度交付になったため、大幅な増となった。

ウ 歳出予算の年度別款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

	平成24年度	平成25年度			平成26年度		
	決算額	決算額	増減額	増減率	決算額	増減額	増減率
1 議会費	2,573,159	2,757,524	184,365	7.2%	2,212,700	△544,824	△19.8%
2 総務費	456,028,395	476,985,920	20,957,525	4.6%	478,512,380	1,526,460	0.3%
3 民生費	3,611,093,422	1,192,660,788	△2,418,432,634	△67.0%	3,728,800,331	2,536,139,543	212.6%
4 諸支出金	240,000	111,000	△129,000	△53.8%	182,000	71,000	64.0%
5 予備費	0	0	0	—	0	0	—
合計	4,069,934,976	1,672,515,232	△2,397,419,744	△58.9%	4,209,707,411	2,537,192,179	151.7%

主な内容として、民生費は、高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金の交付があったため、後期高齢者医療制度臨時特例基金への積立てをしたことにより、大幅な増となった。

(2) 特別会計

ア 歳入歳出年度別決算状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

	平成24年度	平成25年度			平成26年度		
	決算額	決算額	増減額	増減率	決算額	増減額	増減率
歳入	453,296,561,387	486,192,672,600	32,896,111,213	7.3%	511,440,059,571	25,247,386,971	5.2%
歳出	442,879,328,366	473,326,716,784	30,447,388,418	6.9%	496,039,071,125	22,712,354,341	4.8%
歳入歳出 差引 残額	10,417,233,021	12,865,955,816	2,448,722,795	23.5%	15,400,988,446	2,535,032,630	19.7%

平成26年度における特別会計歳入決算額は、前年度と比較し252億4,738万6,971円、5.2%の増、歳出決算額は227億1,235万4,341円、4.8%の増となった。

歳入歳出差引残額は、前年度と比較して25億3,503万2,630円、19.7%の増となっており、歳入歳出差引残額154億98万8,446円は、翌年度に繰り越している。

イ 歳入予算の年度別款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

	平成24年度	平成25年度			平成26年度		
	決算額	決算額	増減額	増減率	決算額	増減額	増減率
1 市町村 支出金	81,618,930,952	85,459,577,946	3,840,646,994	4.7%	90,208,874,378	4,749,296,432	5.6%
2 国庫 支出金	138,823,396,260	148,710,781,457	9,887,385,197	7.1%	159,561,862,106	10,851,080,649	7.3%
3 県支出金	36,058,845,940	37,619,763,881	1,560,917,941	4.3%	39,437,736,526	1,817,972,645	4.8%
4 支払基金 交付金	186,614,862,185	196,384,190,000	9,769,327,815	5.2%	202,890,330,503	6,506,140,503	3.3%
5 特別高額 医療費共同 事業交付金	112,787,042	99,264,731	△13,522,311	△12.0%	127,478,012	28,213,281	28.4%
7 財産収入	8,342,018	5,749,952	△2,592,066	△31.1%	4,429,241	△1,320,711	△23.0%
8 繰入金	7,034,939,266	6,901,030,031	△133,909,235	△1.9%	5,746,388,072	△1,154,641,959	△16.7%
9 繰越金	2,560,500,918	10,417,233,021	7,856,732,103	306.8%	12,865,955,816	2,448,722,795	23.5%
10 諸収入	463,956,806	595,081,581	131,124,775	28.3%	597,004,917	1,923,336	0.3%
合計	453,296,561,387	486,192,672,600	32,896,111,213	7.3%	511,440,059,571	25,247,386,971	5.2%

主な内容として、被保険者数の増加等により保険給付費が増加したことに伴い、前年度と比較し市町村支出金が47億4,929万6,432円、国庫支出金が108億5,108万649円及び支払基金交付金が65億614万503円それぞれ増となった。

ウ 歳出予算の年度別款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

	平成24年度	平成25年度			平成26年度		
	決算額	決算額	増減額	増減率	決算額	増減額	増減率
1 総務費	1,349,129,396	1,172,885,835	△176,243,561	△13.1%	1,205,899,307	33,013,472	2.8%
2 保険給付費	435,915,842,770	459,312,687,855	23,396,845,085	5.4%	481,496,633,366	22,183,945,511	4.8%
千葉県 3 財政安定化 基金拠出金	405,893,000	405,892,444	△556	△0.0%	0	△405,892,444	皆減
特別高額 4 医療費共同 事業拠出金	95,061,616	102,539,490	7,477,874	7.9%	123,088,035	20,548,545	20.0%
5 保健事業費	1,666,549,035	1,811,252,805	144,703,770	8.7%	1,995,765,208	184,512,403	10.2%
6 基金積立金	1,770,412,018	2,439,104,952	668,692,934	37.8%	2,443,439,241	4,334,289	0.2%
7 公債費	0	0	0	—	0	0	—
8 諸支出金	1,676,440,531	8,082,353,403	6,405,912,872	382.1%	8,774,245,968	691,892,565	8.6%
9 予備費	0	0	0	—	0	0	—
合計	442,879,328,366	473,326,716,784	30,447,388,418	6.9%	496,039,071,125	22,712,354,341	4.8%

主な内容として、保険給付費は、被保険者の増加等により前年度と比較し221億8,394万5,511円増加した。また、千葉県財政安定化基金拠出金は、平成25年度に行った平成26.27年度分の保険料率の見直しにおいて、新たな拠出は行わないこととしたため皆減となった。

3 予算の執行状況

(1) 一般会計

ア 歳入予算の款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算現額に対する収入率	調定額に対する収入率	構成比
1 分担金及び負担金	1,628,572,000	1,628,572,000	1,628,572,000	0	100.0%	100.0%	37.4%
2 国庫支出金	2,552,946,000	2,552,945,008	2,552,945,008	0	100.0%	100.0%	58.6%
4 財産収入	3,070,000	2,600,968	2,600,968	0	84.7%	100.0%	0.1%
5 繰入金	57,000,000	57,000,000	57,000,000	0	100.0%	100.0%	1.3%
6 繰越金	113,309,000	113,309,177	113,309,177	0	100.0%	100.0%	2.6%
7 諸収入	802,000	1,113,658	1,113,658	0	138.9%	100.0%	0.0%
8 合計	4,355,699,000	4,355,540,811	4,355,540,811	0	100.0%	100.0%	100.0%

予算現額 43 億 5,569 万 9,000 円に対し、収入済額は 43 億 5,554 万 811 円で、予算現額に対する収入率は 100.0%となっている。

収入済額の主なものは、分担金及び負担金では、広域連合のPersonnel費・事務経費に充てる共通経費負担金 16 億 2,857 万 2,000 円、国庫支出金では、低所得者等の保険料軽減措置に係る高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金 25 億 5,016 万 3,008 円などである。

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 分担金及び負担金

収入済額は 16 億 2,857 万 2,000 円で、前年度に比べ 1 億 343 万 9,000 円の増となった。

内容は、広域連合の事務経費に充てる共通経費負担金を市町村が負担したものである。

第2款 国庫支出金

収入済額は 25 億 5,294 万 5,008 円で、前年度に比べ 25 億 2,986 万 2,408 円の増となった。

内容は、主に高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金 25 億 5,016 万 3,008 円で、平成 26 年度分より前年度交付から当年度交付に変更となったため大幅な増となった。

第4款 財産収入

収入済額は260万968円で、前年度に比べ16万3,829円の減となった。

内容は、臨時特例基金及び財政調整基金の運用収入である。

第5款 繰入金

収入済額は5,700万円で、前年度に比べ2,317万7,172円の減となった。

内容は、財政調整基金繰入金で、基金残高2億円を超過した分を繰り入れたものである。

第6款 繰越金

収入済額は1億1,330万9,177円で、前年度に比べ1,861万7,949円の減となった。

第7款 諸収入

収入済額は111万3,658円で、前年度に比べ54万9,456円の減となった。

イ 歳出予算の款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	構成比
1 議会費	3,014,000	2,212,700	0	801,300	73.4%	0.1%
2 総務費	500,200,000	478,512,380	0	21,687,620	95.7%	11.4%
3 民生費	3,842,303,000	3,728,800,331	0	113,502,669	97.0%	88.5%
4 諸支出金	182,000	182,000	0	0	100.0%	0.0%
5 予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0%	0.0%
合計	4,355,699,000	4,209,707,411	0	145,991,589	96.6%	100.0%

予算現額 43 億 5,569 万 9,000 円に対し、支出済額は 42 億 970 万 7,411 円で、執行率は 96.6%となっている。

支出済額の主なものは、総務費では、職員人件費 3 億 3,911 万 5,775 円、民生費では、低所得者等の保険料軽減措置に充てるための臨時特例基金への積立金 25 億 5,252 万 3,233 円、特別会計への繰出金 11 億 7,627 万 7,098 円などである。

不用額の主なものは 総務費では、一般管理費 2,144 万 7,091 円、民生費では、特別会計への繰出金 1 億 1,307 万 1,902 円などである。

款別の決算状況は、次のとおりである。

第 1 款 議会費

支出済額は 221 万 2,700 円で、前年度に比べ 54 万 4,824 円の減となった。

内容は、広域連合議員報酬、議会開催に係る会場使用料等である。

第 2 款 総務費

支出済額は 4 億 7,851 万 2,380 円で、前年度に比べ 152 万 6,460 円の増となった。

内容は、派遣職員に係る給与、人件費の負担金及び財政調整基金への積み立てである。

第 3 款 民生費

支出済額は 37 億 2,880 万 331 円で、前年度に比べ 25 億 3,613 万 9,543 円の増となった。

内容は、臨時特例基金交付金を積み立てたもの等である。

第4款 諸支出金

支出済額は18万2,000円で、前年度に比べ7万1,000円の増となった。

内容は、保険者機能強化事業費補助金の精算に伴う返還金である。

第5款 予備費

平成26年度は、予備費充用はなかった。

(2) 特別会計

ア 歳入予算の款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	予算現額に対 する収入率	調定額に対 する収入率	構 成 比
1 市 町 村 支 出 金	90,533,859,000	90,208,874,378	90,208,874,378	0	99.6%	100.0%	17.7%
2 国庫支出金	148,778,422,000	159,561,862,106	159,561,862,106	0	107.2%	100.0%	31.2%
3 県 支 出 金	39,690,655,000	39,437,736,526	39,437,736,526	0	99.4%	100.0%	7.7%
4 支 払 基 金 交 付 金	205,330,008,000	202,890,330,503	202,890,330,503	0	98.8%	100.0%	39.7%
特別高額医 5 療費共同事 業 交 付 金	135,000,000	127,478,012	127,478,012	0	94.4%	100.0%	0.0%
7 財 産 収 入	4,699,000	4,429,241	4,429,241	0	94.3%	100.0%	0.0%
8 繰 入 金	5,859,459,000	5,746,388,072	5,746,388,072	0	98.1%	100.0%	1.1%
9 繰 越 金	12,865,955,000	12,865,955,816	12,865,955,816	0	100.0%	100.0%	2.5%
10 諸 収 入	418,920,000	598,371,602	597,004,917	1,366,685	142.5%	99.8%	0.1%
合 計	503,616,977,000	511,441,426,256	511,440,059,571	1,366,685	101.6%	100.0%	100.0%

予算現額 5,036 億 1,697 万 7,000 円に対し、収入済額は 5,114 億 4,005 万 9,571 円で、予算現額に対する収入率は 101.6%となっている。

収入済額の主なものは、市町村支出金では、市町村が徴収した保険料負担金 443 億 8,161 万 950 円、保険給付に係る市町村の療養給付費負担金 378 億 3,568 万 5,477 円、国庫支出金では、保険給付に係る国の療養給付費負担金 1,225 億 8,099 万 6,031 円、広域連合間における財政の不均衡を調整する普通調整交付金 343 億 8,353 万 6,000 円、支払基金交付金では、(被用者保険組合等) 現役世代からの支援金である社会保険診療報酬支払基金からの後期高齢者交付金 2,028 億 9,033 万 503 円などである。

収入未済額は、(患者負担割合変更などによる被保険者等からの) 返納金 136 万 6,685 円である。

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 市町村支出金

収入済額は902億887万4,378円で、前年度に比べ47億4,929万6,432円の増となった。

内容は、各市町村で収納した保険料、低所得者及び被用者保険の被扶養者に係る保険料軽減分の補てん財源である保険基盤安定負担金及び療養の給付等に要した費用の市町村負担分に係る療養給付費負担金である。

第2款 国庫支出金

収入済額は1,595億6,186万2,106円で、前年度に比べ108億5,108万649円の増となった。

内容は、国庫負担金の収入済額は1,244億5,583万5,294円で、療養給付費負担金及び高額医療費負担金である。

また、国庫補助金の収入済額は351億602万6,812円で、広域連合間における財政の不均衡を調整するための普通調整交付金等である。

第3款 県支出金

収入済額は394億3,773万6,526円で、前年度に比べ18億1,797万2,645円の増となった。

内容は、療養の給付等に要した費用の県負担分に係る療養給付費負担金等である。

第4款 支払基金交付金

収入済額は2,028億9,033万503円で、前年度に比べ65億614万503円の増となった。

内容は、後期高齢者交付金で、社会保険診療報酬支払基金を通じて交付される他の医療保険者（現役世代）からの後期高齢者支援金である。

第5款 特別高額医療費共同事業交付金

収入済額は1億2,747万8,012円で、前年度に比べ2,821万3,281円の増となった。

内容は、高額な医療費の発生による財政リスクを緩和するため、各広域連合からの拠出金を財源に国民健康保険中央会より交付された交付金である。

第7款 財産収入

収入済額は442万9,241円で、前年度に比べ132万711円の減となった。

内容は、後期高齢者医療保険料調整基金の運用収入である。

第8款 繰入金

収入済額は57億4,638万8,072円で、前年度に比べ11億5,464万1,959円の減となった。

内容は、一般会計繰入金の収入済額11億7,627万7,098円で、特別会計の事務経費を一般会計か

ら繰り入れたものである。

また、基金繰入金のうち、臨時特例基金繰入金の収入済額 27 億 1,911 万 974 円で、低所得者に対する保険料の軽減等に要する経費を基金から繰り入れたものである。

さらに、後期高齢者医療保険料調整基金繰入金の収入済額 18 億 5,100 万円で、保険料の軽減財源として基金から繰り入れたものである。

第 9 款 繰越金

収入済額は 128 億 6,595 万 5,816 円で、前年度に比べ 24 億 4,872 万 2,795 円の増となった。

内容は、前年度からの繰越金である。

第 10 款 諸収入

収入済額は 5 億 9,700 万 4,917 円で、前年度に比べ 192 万 3,336 円の増となった。

内容は、預金利子 2,926 万 3,371 円、第三者納付金等の雑入 5 億 5,708 万 8,323 円等である。

イ 歳出予算の款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率	構 成 比
1 総 務 費	1,278,379,000	1,205,899,307	72,479,693	94.3%	0.2%
2 保 険 給 付 費	488,898,499,000	481,496,633,366	7,401,865,634	98.5%	97.1%
特別高額医 4 療 費 共 同 事 業 拠 出 金	123,089,000	123,088,035	965	100.0%	0.0%
5 保 健 事 業 費	1,995,767,000	1,995,765,208	1,792	100.0%	0.4%
6 基 金 積 立 金	2,443,709,000	2,443,439,241	269,759	100.0%	0.5%
7 公 債 費	67,192,000	0	67,192,000	0.0%	0.0%
8 諸 支 出 金	8,797,929,000	8,774,245,968	23,683,032	99.7%	1.8%
9 予 備 費	12,413,000	0	12,413,000	0.0%	0.0%
合 計	503,616,977,000	496,039,071,125	7,577,905,875	98.5%	100.0%

予算現額5,036億1,697万7,000円に対し、支出済額は4,960億3,907万1,125円で、執行率は98.5%となっている。

支出済額の主なものは、総務費では、電算処理システム運用業務等委託料6億8,426万5,024円、保険給付費では、療養給付費4,432億6,598万4,211円、高額療養費191億9,386万4,492円、保険事業費では、健康診査委託料17億5,638万7,554円、諸支出金では、療養給付費等に係る国庫支出金返還金72億582万5,022円などである。

不用額の主なものは 総務費では、返還請求情報管理システム賃借料等2,914万9,920円、保険給付費では(保健医療機関等に対する)療養給付費70億219万2,789円、公債費では、一時借入金が発生しなかったことによる一時借入金利子6,719万2,000円、諸支出金では、保険料還付金返還金2,362万9,286円などである。

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 総務費

支出済額は12億589万9,307円で、前年度に比べ3,301万3,472円の増となった。

内容は、通信運搬費、電算処理システム運用業務委託料、レセプトデータ等電算処理委託料、賦課徴収帳票等作成業務委託料、電算処理システム運用オペレーション業務委託料及びシステム関係機器の賃借料等である。

第2款 保険給付費

支出済額は4,814億9,663万3,366円で、前年度に比べ221億8,394万5,511円の増となった。

内容は、療養給付費、療養費、移送費、審査支払手数料、高額療養費、高額介護合算療養費及び葬祭費である。

第4款 特別高額医療費共同事業拠出金

支出済額は1億2,308万8,035円で、前年度に比べ2,054万8,545円の増となった。

内容は、高額な医療費の発生による広域連合の財政リスクを軽減するための事業への拠出金である。

第5款 保健事業費

支出済額は19億9,576万5,208円で、前年度に比べ1億8,451万2,403円の増となった。

内容は健康診査事業を市町村へ委託した費用等である。

第6款 基金積立金

支出済額は24億4,343万9,241円で、前年度に比べ433万4,289円の増となった。

内容は、平成25年度の剰余金のうち、過年度負担金等の精算に要した費用を除いた額を、後期高齢者医療保険料調整基金に積み立てたものである。

第7款 公債費

一時借入金の利子で、借り入れが無かったため、全額不用額となった。

第8款 諸支出金

支出済額は87億7,424万5,968円で、前年度に比べ6億9,189万2,565円の増となった。

内容は平成25年度に歳入された療養給付費等の精算に伴う、市町村負担金等の返還金である。

第9款 予備費

予算外の支出又は予算超過の支出に充てるために設けている予算で、4款特別高額医療費共同事業拠出金に158万3千円、5款保険事業の健康診査費に600万4千円を充用している。

4 実質収支に関する調書の審査

平成 26 年度一般会計及び特別会計の実質収支は、次表のとおりである。

(単位:円)

区 分		一 般 会 計	特 別 会 計
1	歳 入 総 額	4,355,540,811	511,440,059,571
2	歳 出 総 額	4,209,707,411	496,039,071,125
3	歳 入 歳 出 差 引 額	145,833,400	15,400,988,446
4	翌年度へ繰り越すべき財源	(1)継続費通次繰越額	0
		(2)繰越明許費繰越額	0
		(3)事故繰越し繰越額	0
5	実質収支額	145,833,400	15,400,988,446
6	実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	0	0

5 財産に関する調書の審査

平成 26 年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

①公有財産

本年度末における公有財産は無く、本年度中の異動は無い。

②物品

本年度末における取得金額 100 万円以上の物品は、次表のとおりである。

(単位：台)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
事務用器具類	4	0	4

③債権

本年度末における債権は無く、本年度中の異動は無い。

④基金

本年度末における基金は、次表のとおりである。

(単位：千円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高		決算年度末現在高
		増加高	減少高	
後期高齢者医療制度 臨時特例基金	417,293	△ 166,588		250,705
		2,552,523	2,719,111	
財政調整基金	200,205	241		200,446
		57,241	57,000	
後期高齢者医療 保険料調整基金	3,313,079	592,439		3,905,518
		2,443,439	1,851,000	
合 計	3,930,577	426,092		4,356,669
		5,053,203	4,627,111	

基金のうち、後期高齢者医療制度臨時特例基金は、被扶養者であった被保険者及び低所得の被保険者の保険料の軽減、きめ細やかな相談を実施するための体制整備等後期高齢者医療制度の円滑な運営を図ることを目的とするものである。

財政調整基金は、地方財政法第7条第1項の規定により歳入歳出決算剰余金の2分の1を下回らない額を積み立てるものである。

後期高齢者医療保険料調整基金は、保険料率の上昇の抑制を図り、被保険者の負担の軽減に資するためのものである。